

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |               |           |           |
|----------------|---------------|-----------|-----------|
| ○事業所名          | しんがくどう福岡東(児発) |           |           |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年2月10日     | ～         | 令和7年2月28日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)        | 19(2月末時点) | (回答者数) 15 |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年2月10日     | ～         | 令和7年2月28日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)        | 7         | (回答者数) 7  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年3月29日     |           |           |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること  | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等   |
|---|---|---|--|
| 1 | 言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、保育士などが共同し、多角的な視点からアセスメントを行った上で科学的根拠に基づき、多職種連携でお子さん一人一人に合った療育を行っています。お子さんの総合的な支援を行います。                         | 1回のご利用辺り1回以上、20～30分の個別型療育の時間を必ず設けています。午前中で3コマの療育活動を小集団、個別で行っています。カンファレンスなどで情報共有を行い、支援の統一を図っています。                              | カンファレンスやミーティングのさらなる充実を目指しています。また、職員のスキルアップに努めてまいります。                               |
| 2 | 施設内だけで完結しない療育の実現を目指し、午前中療育活動を行った後は、園やご自宅へ送迎し、療育で培った力を発揮していただいています。お子さんやご家族の困り感について多角的にアセスメントを行い、問題解決の方法を検討し、ご家族と話し合いながら実践しています。 | 定期的な面談を実施し、ご家族の困り感の解決や情報共有に努めています。連絡帳(メール)で療育の目的や様子を詳しくお伝えしています。ご自宅で実践できるホームプログラム提案もしています。また、園への送迎時に情報共有を行っています。              | 保護者同士の交流などを目的に保護者会など開催頻度をあげていきます。園との情報共有をより充実させていきます。また、就学時の学校への情報提供も行っていければと思います。 |
| 3 | 事業所内での療育の成果を活かし、園生活やご家庭での生活、地域生活で力を発揮できるよう、お子さんに応じて支援方法を確立するとともに柔軟性のあるかかわりを行っています。個別の時間や落ち着いたためのお部屋としてダウンルームを設置しています。           | 自由遊びの時間はお子さんどうしのかかわりを大人が介入しながら広げるアプローチを行っています。その中で役割交代や自己コントロールの力を育てています。また、玩具を片付ける「おしまいボックス」や帰る前の「絵本タイム」でクールダウンや切り替えを促しています。 | カンファレンスやミーティングのさらなる充実を目指しています。また、職員のスキルアップに努めてまいります。                               |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|---|---|
| 1 | 外階段の安全性。                                   | 金属性であり、雨天時に滑りやすいことが考えられます。                                    | マットを敷くなど対策を検討します。また、隙間から下が見えないよう目隠しをしていきます。                         |
| 2 | ICTやデジタルツールの活用が少ない。                        | 保護者の方とのコミュニケーション手段は連絡帳機能を活用中ですが、タブレットやアプリを使用した支援については拡充が必要です。 | 必要に応じてICT機器の拡充を行っていきます。   |
| 3 | 関わりの統一が不十分。                                | カンファレンスやミーティングの頻度を確保できておらず、かかわりの統一が不十分であることが考えられます。           | カンファレンスの頻度の確保や職員のスキルアップのため社内研修の充実を図ります。また、ご家庭や園とも情報共有や情報提供を行っていきます。 |